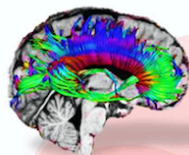


養育者支援によって子どもの虐待を低減するシステムの構築

公開シンポジウム

公私連携による養育者支援プログラムの活用

参加費無料
(事前予約要)



子ども虐待防止には、親（養育者）や家庭全体の抱える問題の解決が重要ですが、心理・対人関係・過去や現在の環境因などが交絡する複雑な問題が関与することが多く、また支援のための人的・物的リソース不足もあり、必要な方に支援が行き届いているとは言い難い現状です。

科学技術振興機構 社会技術研究開発センター「養育者支援によって子どもの虐待を低減するシステムの構築」プロジェクトでは今回、それぞれが独自の個性を持つ日本の民間養育者支援プログラムとその実績をご紹介します公開シンポジウムを企画しました。後半では、民間と行政が連携して養育者支援プログラムを活用・普及するために必要な要件はなにかを討議し、さまざまなお立場からのご意見をお聞きしたいと考えております。

厚生労働省「児童虐待を行った保護者に対する援助ガイドライン」でも、「保護者援助のために民間団体等が行う保護者援助プログラム等の有用性を勘案して、積極的に活用することにより効果的かつ効率的な保護者援助に務めることが重要である」としています。親のためだけでなく、問題の根本的解決によって子どもの最善の利益に直結する養育者支援のために、今、いっそうの公私協働が求められているのではないのでしょうか。

みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

第一部

全国で実践されている養育者プログラムの紹介

犬塚峰子 (AF-CBT Japan代表／大正大学)
 加藤則子 (Triple-P Japan 副理事／十文字学園女子大学)
 森田ゆり (MY TREE開発者 エンパワメント・センター主宰)
 加茂登志子 (PCIT-Japan 理事長／東京女子医科大学) 他

第二部

パネルディスカッション「公私連携による養育者プログラムの活用に向けて」

森田展彰 (RISTEX児童虐待予防プロジェクト代表／筑波大学)
 黒田公美 (RISTEX養育者支援プロジェクト代表／理化学研究所) 他

(詳細、最終版はプロジェクトHPに随時掲載いたします。http://parent-supporters.brain.riken.jp)

日時

平成29年1月7日(土)
 13:30～17:30(開場13:15)

会場

筑波大学東京キャンパス文京校舎
 134講義室 *会場が当初の予定から変更になりました
 東京都文京区大塚3-29-1
 丸ノ内線茗荷谷駅「出口1」から徒歩3分

申込み

ristex-oyako@brain.riken.jp
 お名前、フリガナ、ご所属を明記の上、メールをお送りください。

